

後発医薬品自己負担差額通知の送付

■ 差額通知の送付 6 1 / 6 2 保険者 で実施

※差額通知未送付の保険者においては、医療機関との連携や広報誌の活用により普及・啓発を実施

【発送回数】 平均 4.4回 最大 12回（1年あたり）

【抽出条件】 薬効分類 「がんその他特殊疾病・精神疾患等に使用する医薬品を除く」
「限定出荷や供給停止等の供給不足の医薬品を除く」 など
自己負担額の差額 100円以上、300円以上、500円以上 など
年 齢 18歳以上、20歳以上、30歳以上、など

【記載内容】 処方実績 医薬品名・数量・一部負担額、削減可能な自己負担額 など

＜差額通知のイメージ＞

被保険者記号番号			
処方実績		ジェネリック医薬品に切り替えた場合に削減できる自己負担額	
医薬品名・投与期間・1日用量・院内／院外	自己負担相当額		
合計			

後発医薬品希望カード・希望シールの配布

■ 希望カードの配布 2 5 / 6 2 保険者 で配布予定

■ 希望シールの配布 4 3 / 6 2 保険者 で配布予定

※令和 6 年度未配布の保険者のうち、令和 7 年度での配布を予定・検討中の保険者あり（希望カード 10自治体、希望シール 12自治体）

【被保険者への配布方法】 ・差額通知発送時に希望シールを同封
・国保加入者に配布する冊子に希望カードを印刷 など

その他 使用促進に向けた取組例①

■ ジェネリック医薬品普及啓発文の入ったグッズの作成（荒川区）

- 「かしこく つかおう ジェネリック医薬品」のフレーズを挿入
- 区役所窓口や各図書館での配布に加え、**年齢層に応じ、保育園や高齢者の通いの場**でも配布
- 区のシンボルキャラクターの使用により、区民から好評

<カイロ>

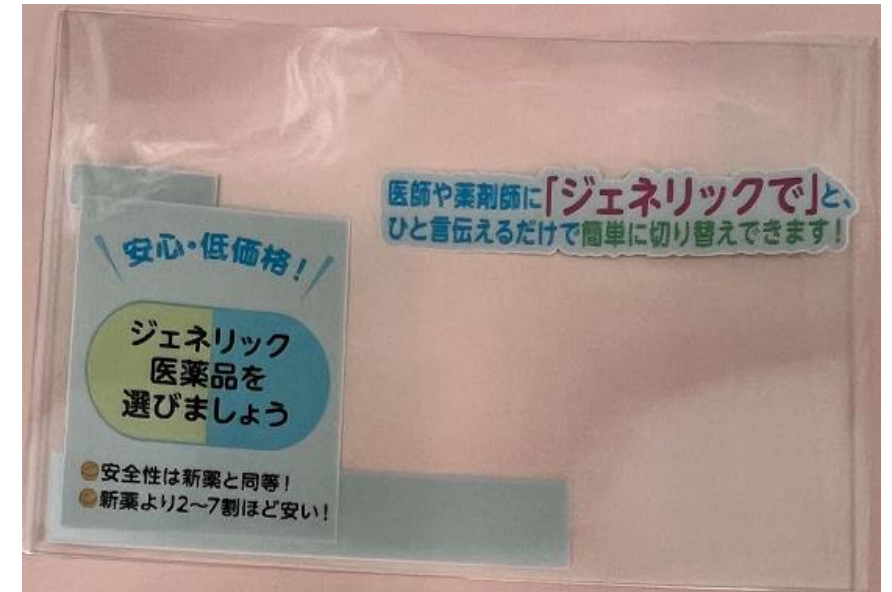


<マスクケース>



これまでに、ポケットティッシュ、
限度額認定証ケース、
カイロ、絆創膏、歯ブラシ
セット、マスクケースなどを
作成

■ ジェネリック医薬品利用勧奨記事付きのマイナンバーカードケースの配布（試行中）



- 地区の薬剤師会との連携**による取り組み
- 令和6年11月以降配布開始予定

■ 産学官連携による後発医薬品の使用促進（小平市）

目的

- 市民に対する科学的根拠に基づく適切な医薬品情報の提供や、有効性、安全性等に基づくジェネリック医薬品の使用促進など、医薬品の適正使用を推進し、医療費適正化を図る事を目的としている。

連携の動機・構成

- 薬剤の不足への対応や、その状況下での薬剤処方の方針の必要性を感じた小平市薬剤師会の提案がきっかけ

- 小平市、小平市薬剤師会、武蔵野大学の3者で、連携協定を締結

今後の取組

- 市民の使用薬剤データを基に、薬効分類毎に、地域での薬剤使用状況や医薬品の品質、有効性などの調査・分析を行っていく。
- 医療費の高騰や後発医薬品に限らない薬剤の不足、後発医薬品の信頼面でのイメージダウンがある中、市内のどの薬局においても、科学的根拠に基づく適切な情報提供と質の高い薬物療法の提供により、市民が安心して後発医薬品等の選択が可能になることなどが期待される。

PRESS RELEASE

小平市

産学官3者による連携協定を締結
～医薬品の適正使用と医療費適正化に向けて～
小平市薬剤師会 ＊ 武蔵野大学 ＊ 小平市

10月11日（金）午後2時から
小平市役所で協定締結式を開催します！

小平市と小平市薬剤師会と武蔵野大学は、相互に連携協働し、市民に対する科学的根拠に基づく適切な医薬品情報の提供や、有効性、安全性等に基づくジェネリック医薬品の使用促進など、医薬品の適正使用を推進し、医療費適正化を図ることを目的に、連携協定を締結します。

つきましては、令和6年10月11日（金曜日）14時から、小平市役所において協定の締結式を行います。

連携協働する事項

- ・小平市国民健康保険加入者の医薬品使用実態の調査と分析
- ・市民への適切な医薬品情報の提供やジェネリック医薬品の使用促進等
- ・この協定の目的を実現するために行う教育研究に関すること
- ・その他、この協定の目的を実現するための施策に関すること

協定締結式の概要

日時	令和6年10月11日（金）14時から14時30分まで
場所	小平市役所 3階 応接室（小平市小川町2丁目1,333番地）
出席者	小平市薬剤師会 会長 米澤 一郎 氏 武蔵野大学 学長 西本 照真 氏 小平市長 小林 洋子